



2019年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月10日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 定時株主総会開催予定日 2019年11月27日 配当支払開始予定日 2019年11月28日
 有価証券報告書提出予定日 2019年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期の連結業績(2018年9月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	65,840	6.6	9,507	21.0	9,562	16.5	6,226	40.7
2018年8月期	61,771	11.7	7,858	27.8	8,207	29.2	4,426	36.0

(注) 包括利益 2019年8月期 6,255百万円(21.9%) 2018年8月期 5,133百万円(43.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年8月期	76.57	—	21.7	13.6	14.4
2018年8月期	54.44	—	18.7	14.7	12.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	72,087	31,815	44.1	391.24
2018年8月期	68,357	26,697	37.5	315.51

(参考) 自己資本 2019年8月期 31,815百万円 2018年8月期 25,656百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年8月期	12,577	△8,732	△3,193	12,530
2018年8月期	8,327	△23,405	13,276	11,889

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期	—	20.00	—	5.00	—	822	18.4	3.4
2019年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00	975	15.7	3.4
2020年8月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00		17.7	

当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。2018年8月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

当社は本日開催の取締役会において、上記記載の予想配当金とは別に、2020年8月期第2四半期末を基準日として当社子会社株式を現物配当すること(以下「本スピンオフ」という。)について2019年11月27日開催予定の定時株主総会に付議することを決定いたしました。上記予想は、本スピンオフが実施されない場合の予想配当となっておりますが、当該現物配当及び本スピンオフが実施された場合の2020年8月期予想配当に関しましては次々ページ【ご参考】をご参照ください。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,290	8.3	5,204	4.4	5,229	4.7	3,489	19.0	42.91
通 期	72,029	9.4	11,054	16.3	11,049	15.5	7,369	18.3	90.62

当社は本日開催の取締役会において、本スピンオフを2019年11月27日開催予定の定時株主総会に付議することを決定いたしました。上記予想は、本スピンオフが実施されない場合の予想値となっておりますが、本スピンオフが実施された場合の2020年8月期業績予想につきましては次ページ【ご参考】をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ー 社（社名）ー 、除外 ー 社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年8月期	82,300,000株	2018年8月期	82,300,000株
2019年8月期	981,716株	2018年8月期	981,716株
2019年8月期	81,318,284株	2018年8月期	81,318,345株

当社は、2018年6月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】P.4「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

【ご参考】

1. 現物配当（金銭以外の財産による配当）の概要

(1) 基準日	2020年2月29日（土曜日）
(2) 配当財産の種類	株式会社カーブスホールディングス 普通株式
(3) 配当財産の帳簿価額の総額及び1株当たり価額	18,038,187円（1株当たり0円22銭）
(4) 配当財産の時価の総額及び1株当たり価額	－円（1株当たり－円）（注）1
(5) 効力発生日	2020年3月1日（日曜日）
(6) 現物配当により減少する資本の額等	利益剰余金 18,038,187円 配当原資は利益剰余金であり、本スピンオフ時点における、カーブスホールディングス株式の帳簿価額分が減少する予定です。

（注）1. 子会社株式のすべてを株式数に応じて比例的に配当する場合の会計処理については、企業会計基準適用指針第2号「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」第10項但書に従い、子会社株式の価額は適正な帳簿価額をもって計算することになり、当社の分配可能額の算出においても同様です。従いまして、配当財産であるカーブスホールディングス株式の時価は算定されておりません。

2. 本スピンオフが実施された場合の配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期	—	20.00	—	5.00	—	822	18.4	3.4
2019年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00	975	15.7	3.4
2020年8月期 (予想)	—	8.00	—	4.00	12.00		17.8	

当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しております。2018年8月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 本スピンオフが実施された場合の2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）（注）1	35,290	8.3	5,204	4.4	5,229	4.7	3,489	19.0	42.91
通期（注）2	57,209	—	8,084	—	8,125	—	5,482	—	67.41

（注）1. 第2四半期までの当社連結業績予想にはカーブスホールディングスグループも含んでおります。

2. 上記は本スピンオフが実施された場合の当社連結業績予想であり、第3四半期以降の当社連結業績予想にはカーブスホールディングスグループは含んでおりません。また、このため対前期増減率につきましては記載しておりません。

※本スピンオフの詳細につきましては、本日付の「子会社株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）及び特定子会社の異動に関するお知らせ」（URL:<https://www.koshidakaholdings.co.jp/news/>）をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化等に起因する輸出不振で製造業は停滞感を示す一方で、内需に支えられた非製造業は拡大が続いています。

個人所得が安定的に推移しているため、ここまで個人消費も堅調を維持してきています。

このような環境下で各事業において諸施策を実施した結果、当連結会計年度の売上高は658億40百万円(前連結会計年度比6.6%増)、営業利益95億7百万円(同21.0%増)、経常利益95億62百万円(同16.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は62億26百万円(同40.7%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(カラオケ)

新店開設と既存店の増室を首都圏中心に全国で展開し、各顧客層の固定客化施策展開と他社に無い新しいサービスの提供及び業務の自動化・効率化を推進すると共に、低採算店を整理して、国内では成長と収益性の向上の両面で力を入れました。

会員サービスアプリ「まねきねこアプリ」は、ポイントシステムやランクアップシステムなどが好評で、登録者数は2,462千人となり拡大中です。大学生・短大生・専門学校生専用の通称「まふ」(まねきねこフリータイム)は、減っていた平日夜～深夜の客数呼戻しに効果を発揮し、一定の条件を満たせば小中学生無料となる「まねきde家族割」は、平休日の昼夕の集客増に寄与し、来店客全体を大きく伸ばすことができました。

海外では、タイに初出店及びマレーシアには2店舗を開設し、東南アジア展開を更に推し進めました。

当連結会計年度末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比5店舗増加し525店舗、海外店舗数は21店舗(シンガポール9店舗、韓国8店舗、マレーシア3店舗、タイ1店舗)となりました。国内店舗のリニューアルは42店舗実施いたしました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は売上高は357億32百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益は45億18百万円(前年同期比43.3%増)となりました。

(カーブス)

病気に罹らず介護も要らず、いつまでも健康で楽しく過ごせる人生の実現を目指して、生涯ともに運動を続けられる習慣作りと場所の提供を行っております。

運動習慣の無い方々に、その必要性和大切さを理解していただき、運動習慣を身につけるように導くことにより、会員数の継続的拡大を図り、店舗網の充実に努めました。

男性専用フィットネスジム「メンズ・カーブスオギノ茅野」を、長野県にオープン致しました。男性向けカーブスとしての試験的出店であり、今後の多店舗展開の可能性を探るべく各種のトライアルに挑戦しております。

当連結会計年度末の国内カーブス店舗数は前連結会計年度末比79店舗増加(増加率4.1%)し1,991店舗(内グループ直営店64店舗)に、会員数は5千人減少(減少率0.6%)し822千人となりました。

以上の結果、カーブスセグメントの売上高は280億36百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益は56億79百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

(温浴)

滞在時間を延ばす居心地の良い空間作りと飲食メニューの一新を図ると共に、設備の省エネ化を更に推し進めることにより、温浴事業の質量両面に亘る経営改善に努めてまいりました。

以上の結果、温浴セグメントの売上高は16億40百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益は1億8百万円(前年同期比51.0%増)となりました。

(不動産管理)

不動産管理セグメントの売上高は4億31百万円(前年同期比37.6%増)、セグメント利益は59百万円(前年同期比55.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は次のとおりであります。

(資 産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ37億29百万円増加し(前連結会計年度末比5.5%増)720億87百万円となりました。

流動資産は7億99百万円増加し207億62百万円(同比4.0%増)となりました。

有形固定資産は46億40百万円増加し221億92百万円(同比26.4%増)となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が33億25百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は20億91百万円減少し225億36百万円(同比8.5%減)となりました。これは主に、商標権が15億39百万円およびのれんが3億53百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は3億81百万円増加し65億96百万円(同比6.1%増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が4億36百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は29億30百万円増加し513億24百万円(同比6.1%増)となりました。

(負 債)

流動負債は1億95百万円増加し150億23百万円(同比1.3%増)となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が6億41百万円減少した一方で、未払金が5億20百万円および未払費用が3億35百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は15億83百万円減少し252億49百万円(同比5.9%減)となりました。これは主に、長期借入金が14億36百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は13億87百万円減少し402億72百万円(同比3.3%減)となりました。

(純資産)

純資産は51億17百万円増加し318億15百万円(同比19.2%増)となりました。これは主に、利益剰余金が53億32百万円増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して6億41百万円の増加となり、125億30百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、125億77百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は83億27百万円の資金増加であり、42億50百万円増加額が増えております。これは主に、税金等調整前当期純利益が11億40百万円および商標権償却額が8億16百万円増えた一方で、法人税等の支払額が7億22百万円減ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、87億32百万円の資金減少となりました。前連結会計年度は234億5百万円の資金減少であり、146億73百万円減少額が減っております。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による支出が184億5百万円減った一方で、有形固定資産の取得による支出が32億71百万円増えたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、31億93百万円の資金減少となりました。前連結会計年度は132億76百万円の資金増加であり、164億69百万円増加額が減っております。これは主に、長期借入れによる収入が155億97百万円減ったことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、米中の貿易摩擦等の国際情勢の変化による影響を注視する必要があるものの、好調な企業業績を背景に景気は安定し、雇用情勢の回復に伴い個人消費も堅調に推移するものと思われま

す。このような環境下、今期の見通しは以下のとおりであります。

【カラオケ】

駅前繁華街に重点を置いた新規出店と既存店の増床増室、加えて店舗のリロケーションを行うことにより、店舗の大型化と総ルーム数の拡大を実現し、店舗ネットワークの効率化と店舗運営の生産性向上を図りつつ、更なる成長を目指してまいります。

その実現の為に、社内研修施設「まねき塾」で長年培った人財教育のノウハウを更に高度化し、人材の大量採用と育成に挑戦していきます。接客サービスにより注力できるように、業務のシステム化・自動化を進めると共に、開発を伴う新しいサービスの創造にも挑戦してまいります。

海外市場においては、タイに初出店すると共にマレーシアでの多店舗展開を開始するほか、周辺国においても準備を進めます。

これらの施策により、カラオケセグメントの売上高405億11百万円（当連結会計年度比13.4%増）を見込んでおります。

【カーブス】

高齢化が急速に進む中で、健康寿命の延伸という社会的な課題解決に貢献していく為には、現在の事業規模と事業領域ではまだまだ不十分であると考えます。

まずは既存業態の会員数拡大に資する新たな手法を開発すること、そして多店舗展開の実現を目的に、男性専用フィットネスジム「メンズカーブス」の業態整備と、全く新たな運動サービスの業態開発に挑戦していきます。プロテインも一層の高機能化を目指した新商品の開発に努めております。

これらの施策により、カーブスセグメントの売上高292億36百万円（当連結会計年度比4.3%増）を見込んでおります。

【温浴】

既存コンテンツの一新など、顧客満足度を高めていく各種施策の展開と、更なる省エネ化施策の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。

これらの施策により、温浴セグメントの売上高16億64百万円（当連結会計年度比1.5%増）を見込んでおります。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は6億18百万円（当連結会計年度比43.2%増）を見込んでおります。

以上により、2020年8月期通期の連結業績につきましては、売上高720億29百万円（当連結会計年度比9.4%増）、営業利益110億54百万円（同16.3%増）、経常利益110億49百万円（同15.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益73億69百万円（同18.3%増）を見込んでおります。

なお、上記予想は、本スピンオフが実施されない場合の予想値となっておりますが、本スピンオフが実施された場合の2020年8月期業績予想につきましてはサマリー情報【ご参考】をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および海外への事業展開の進展状況を踏まえながら、国際会計基準の適用について、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,926,326	12,582,028
受取手形及び売掛金	3,824,364	3,870,289
商品	944,185	915,186
原材料及び貯蔵品	179,193	196,689
その他	3,105,386	3,233,954
貸倒引当金	△16,317	△35,701
流動資産合計	19,963,138	20,762,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,149,729	28,522,017
減価償却累計額	△10,655,877	△12,702,893
建物及び構築物(純額)	12,493,852	15,819,123
車両運搬具及び工具器具備品	12,399,499	14,020,752
減価償却累計額	△9,369,109	△10,561,915
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	3,030,389	3,458,837
土地	1,965,917	2,815,162
リース資産	538,486	538,486
減価償却累計額	△507,684	△518,171
リース資産(純額)	30,801	20,314
建設仮勘定	31,412	79,280
有形固定資産合計	17,552,375	22,192,717
無形固定資産		
のれん	1,965,454	1,611,996
商標権	20,559,362	19,020,017
ソフトウェア	791,047	855,811
その他	1,311,693	1,048,297
無形固定資産合計	24,627,557	22,536,122
投資その他の資産		
投資有価証券	932,066	867,230
長期貸付金	649,405	628,150
長期前払費用	47,986	31,115
敷金及び保証金	3,522,191	3,958,898
繰延税金資産	984,128	1,109,984
その他	188,217	176,689
貸倒引当金	△109,587	△175,965
投資その他の資産合計	6,214,409	6,596,103
固定資産合計	48,394,341	51,324,943
資産合計	68,357,480	72,087,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,430,957	2,476,545
1年内返済予定の長期借入金	4,787,866	4,146,163
リース債務	20,452	6,957
未払金	1,337,875	1,858,567
未払費用	1,096,081	1,431,285
未払法人税等	1,873,817	1,715,689
賞与引当金	395,052	406,421
預り金	1,806,372	1,893,317
その他	1,079,163	1,088,143
流動負債合計	14,827,639	15,023,091
固定負債		
長期借入金	19,533,844	18,097,681
リース債務	6,721	—
繰延税金負債	5,028,123	4,329,366
資産除去債務	1,981,839	2,427,259
その他	282,069	394,912
固定負債合計	26,832,597	25,249,219
負債合計	41,660,236	40,272,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	2,335,577	3,302,786
利益剰余金	21,115,366	26,447,399
自己株式	△301,538	△301,538
株主資本合計	25,219,662	31,518,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,171	41,656
為替換算調整勘定	402,722	254,520
その他の包括利益累計額合計	436,893	296,176
非支配株主持分	1,040,687	—
純資産合計	26,697,244	31,815,081
負債純資産合計	68,357,480	72,087,391

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
売上高	61,771,031	65,840,277
売上原価	45,064,587	46,077,885
売上総利益	16,706,443	19,762,391
販売費及び一般管理費	8,848,328	10,254,457
営業利益	7,858,115	9,507,934
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,727	13,806
為替差益	302,944	—
店舗移転補償金	91,000	—
協賛金収入	58,291	—
解約金収入	—	442,765
貸倒引当金戻入額	—	4,557
その他	132,811	159,562
営業外収益合計	599,774	620,691
営業外費用		
支払利息	47,185	71,582
支払手数料	102,200	26,500
為替差損	—	262,813
投資有価証券評価損	—	53,623
貸倒引当金繰入額	73,359	75,000
その他	27,251	76,833
営業外費用合計	249,996	566,353
経常利益	8,207,893	9,562,273
特別利益		
固定資産売却益	381	2,972
特別利益合計	381	2,972
特別損失		
固定資産除却損	60,115	50,179
減損損失	435,548	320,253
関係会社整理損	—	144,410
関係会社株式評価損	24,650	221,758
特別損失合計	520,314	736,601
税金等調整前当期純利益	7,687,959	8,828,644
法人税、住民税及び事業税	3,013,682	3,225,065
法人税等調整額	△116,979	△792,757
法人税等合計	2,896,703	2,432,308
当期純利益	4,791,256	6,396,335
非支配株主に帰属する当期純利益	364,657	169,801
親会社株主に帰属する当期純利益	4,426,599	6,226,534

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
当期純利益	4,791,256	6,396,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△736	7,485
為替換算調整勘定	343,063	△148,202
その他の包括利益合計	342,326	△140,717
包括利益	5,133,583	6,255,618
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,768,925	6,085,817
非支配株主に係る包括利益	364,657	169,801

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,070,257	2,335,577	17,461,291	△301,401	21,565,724
当期変動額					
剰余金の配当			△772,524		△772,524
親会社株主に帰属する当期純利益			4,426,599		4,426,599
自己株式の取得				△136	△136
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,654,074	△136	3,653,938
当期末残高	2,070,257	2,335,577	21,115,366	△301,538	25,219,662

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34,907	59,659	94,567	1,003,506	22,663,798
当期変動額					
剰余金の配当					△772,524
親会社株主に帰属する当期純利益					4,426,599
自己株式の取得					△136
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△736	343,063	342,326	37,180	379,506
当期変動額合計	△736	343,063	342,326	37,180	4,033,445
当期末残高	34,171	402,722	436,893	1,040,687	26,697,244

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,070,257	2,335,577	21,115,366	△301,538	25,219,662
当期変動額					
剰余金の配当			△894,501		△894,501
親会社株主に帰属する当期純利益			6,226,534		6,226,534
自己株式の取得					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		967,208			967,208
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	967,208	5,332,033	—	6,299,241
当期末残高	2,070,257	3,302,786	26,447,399	△301,538	31,518,904

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34,171	402,722	436,893	1,040,687	26,697,244
当期変動額					
剰余金の配当					△894,501
親会社株主に帰属する当期純利益					6,226,534
自己株式の取得					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					967,208
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,485	△148,202	△140,717	△1,040,687	△1,181,404
当期変動額合計	7,485	△148,202	△140,717	△1,040,687	5,117,837
当期末残高	41,656	254,520	296,176	—	31,815,081

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,687,959	8,828,644
減価償却費	3,581,895	4,095,905
減損損失	435,548	320,253
のれん償却額	473,118	262,137
商標権償却額	242,178	1,059,054
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,533	11,369
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	70,841	85,761
受取利息及び受取配当金	△14,727	△13,806
支払利息	47,185	71,582
有形固定資産売却損益 (△は益)	△381	△1,743
売上債権の増減額 (△は増加)	△587,477	△52,974
たな卸資産の増減額 (△は増加)	27,731	9,332
仕入債務の増減額 (△は減少)	232,970	46,500
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	71,506	451,143
その他	136,201	845,095
小計	12,465,087	16,018,256
利息及び配当金の受取額	14,727	13,806
利息の支払額	△47,119	△71,633
法人税等の支払額	△4,105,573	△3,382,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,327,121	12,577,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,356,427	△7,628,404
有形固定資産の売却による収入	381	5,579
無形固定資産の取得による支出	△465,809	△420,505
投資有価証券の取得による支出	△267,863	△165,549
投資有価証券の売却等による収入	718,939	29,252
敷金及び保証金の差入による支出	△574,868	△602,548
敷金及び保証金の回収による収入	52,025	89,708
貸付けによる支出	△111,996	△218,848
貸付金の回収による収入	61,806	251,799
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による支出	△18,405,198	—
子会社株式の取得による支出	—	△108,897
子会社株式の売却による収入	—	0
その他	△56,652	36,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,405,662	△8,732,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	18,297,800	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△3,815,738	△4,777,866
自己株式の取得による支出	△136	—
リース債務の返済による支出	△33,383	△21,037
配当金の支払額	△772,524	△894,501
非支配株主への配当金の支払額	△400,000	△200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,276,016	△3,193,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,353	△10,849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,865,877	641,130
現金及び現金同等物の期首残高	13,754,885	11,889,007
現金及び現金同等物の期末残高	11,889,007	12,530,137

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、各子会社は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、下記の4区分を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

- ① 「カラオケ」はカラオケボックス店舗の運営を行っております。
- ② 「カーブス」はフィットネスフランチャイズの運営及びフィットネスクラブ”カーブス”店舗の運営を行っております。
- ③ 「温浴」は温浴施設の運営を行っております。
- ④ 「不動産管理」は賃貸等不動産の管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	31,936,452	27,933,448	1,587,484	313,644	61,771,031	—	61,771,031
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,936,452	27,933,448	1,587,484	313,644	61,771,031	—	61,771,031
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,153,438	5,345,320	71,885	133,570	8,704,215	△846,100	7,858,115
セグメント資産	19,942,277	37,433,323	679,331	3,746,393	61,801,325	6,556,155	68,357,480
その他の項目							
減価償却費	3,044,097	578,400	86,040	79,647	3,788,185	35,889	3,824,074
のれんの償却額	451,247	21,870	—	—	473,118	—	473,118
減損損失	435,548	—	—	—	435,548	—	435,548
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,028,979	424,176	133,552	3,459	4,590,168	13,695	4,603,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△846,100千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額6,556,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	35,732,033	28,036,688	1,640,035	431,518	65,840,277	—	65,840,277
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,732,033	28,036,688	1,640,035	431,518	65,840,277	—	65,840,277
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,518,899	5,679,427	108,513	59,354	10,366,194	△858,259	9,507,934
セグメント資産	22,499,400	34,133,666	656,777	6,810,705	64,100,549	7,986,841	72,087,391
その他の項目							
減価償却費	3,125,314	1,757,421	89,439	144,720	5,116,895	38,063	5,154,959
のれんの償却額	181,701	80,435	—	—	262,137	—	262,137
減損損失	320,253	—	—	—	320,253	—	320,253
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,332,144	388,853	51,940	2,730,666	8,503,604	22,652	8,526,256

(注) 1. セグメント利益の調整額△858,259千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額7,986,841千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位：千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	451,247	21,870	—	—	—	473,118
当期末残高	323,803	1,641,651	—	—	—	1,965,454

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	181,701	80,435	—	—	—	262,137
当期末残高	155,895	1,456,101	—	—	—	1,611,996

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)		当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	
1株当たり純資産額	315円51銭	1株当たり純資産額	391円24銭
1株当たり当期純利益金額	54円44銭	1株当たり当期純利益金額	76円57銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

- (注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度980,000株、当連結会計年度980,000株)。また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度980,000株、当連結会計年度980,000株)。
2. 当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,426,599	6,226,534
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,426,599	6,226,534
期中平均株式数(株)	81,318,345	81,318,284

(重要な後発事象)

該当事項はありません。